

硝酸化成抑制材(ST)入り肥料

モデナ アテナ ST-36

ATHENA Works

STは「アンモニア」を「亜硝酸」にする「亜硝酸菌」の活動を抑制することで、窒素成分を「アンモニア」の状態に保持します。

「アンモニア」は土壤に吸収されるため流亡しづらく、長期間、土壤中に存在することができます。また、少しずつ硝酸に変化するため、肥効が長続きます。

N-11 P-8 K-17 Mg-2

●保証成分(%)

窒素	(内アンモニア性) 窒素	リン酸	カリ	マグネシウム	マンガン	ホウ素
11.0	2.0	8.0	17.0	2.0	0.03	0.05

●含有成分(%)

固結防止剤 (硫酸) 苦土	硝酸化成抑制剤 (サルファチアゾール)
0.5	0.6

規格: 1kg×10

MISSION VERDY

硝酸化成抑制材STの効果



～世界中の作物をサンアグロの肥料で育てたい～

モデナ[®] アテナ ST-36

他にどんな期待ができるの？

1 「硝酸による地下水汚染」の予防・軽減

ST入り肥料は、地下水への流亡を抑えることができるため、地下水汚染の予防・軽減に効果的です。

2 省力化・コスト削減

流されにくいからムダがなく、施肥量・施肥回数を減らすことができ、コスト削減・省力化に貢献します。

3 安全安心な芝管理

芝の過剰な硝酸吸収が抑えられるため、人体に安全な芝を生育することができます。

推奨利用場面

- 春先・秋口・芝の根が寒さ、暑さに弱っているとき、また、梅雨明け、湿害により根がよわっているとき、根を保護しながら施肥出来ます。
- 春の晩霜・晩秋・早霜の心配される時は、芝の体内養分濃度を高め、耐寒性を増すことができます。
- グリーン・ティーなど、踏圧により芝の根の弱りやすいところに、芝の根をいためずに施肥できます。
- 悪天候で、日照不足となり、芝が徒長しやすい時に、徒長を防止し、健全な生育を促すことができます。

使用方法

- 1~2g/m² 200~500倍(1回の施肥料は窒素で約0.25~0.5g/m²)

散布方法

- 散布間隔は、1週間以上あけて下さい。
- 夏期・高温・乾燥期には、低濃度多水量散布にして下さい。
- 梅雨明けなど、芝の生育が軟弱な場合には、低濃度多水量散布で、糖類の添加をお勧め致します。
- 農薬と混合散布するときは、500倍の計算量で添加して下さい。

⚠ 使用上の注意

- 石灰硫黄剤などアルカリ性剤・銅剤との混用は避け下さい。
- 稀釈は使用当日に行い、速やかに使い切って下さい。絶対に貯め置きしないで下さい。
- 使用したタンク、配管、器具、ホースは使用後真水で洗浄して下さい。

製造



取扱店